

## 平成 27 年度一般廃棄物処理施設の維持管理状況の情報の公表

設置者名	紀北町長 尾上壽一
施設名称	長島不燃物処理場
設置場所	北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島 2926 番地
問合せ先	0597-47-4731

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「法」という。）の規定に基づき、維持管理に関する情報を公表します。

### 廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報

環境省令の該当する号	施設の種類	公表事項
第四号	一般廃棄物の最終処分場	以下のとおり

#### イ 埋め立てた一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

一般廃棄物の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
不燃ごみ (t)	24.9	38.0	28.0	23.7	25.0	27.1	38.9	27.6	34.5	24.2	25.5	36.4





二 最終処分基準省令第一条第二項第十号及び第十四号ハ並びにダイオキシン類対策特別措置法に基づく廃棄物の最終処分場の維持管理の基準を定める省令（平成十二年総理府厚生省令第二号。以下「維持管理基準省令」という。）第一条第一号及び第三号口の規定による水質検査に関する次に掲げる事項

埋立処分開始後（地下水No. 1）

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
カドミウム	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.003 mg/L 以下)
全シアン	検出されないこと。	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (検出されないこと)
鉛	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.01 mg/L 以下)
六価クロム	一リットルにつき〇・〇五ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.05 mg/L 以下)
砒素	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.01 mg/L 以下)
総水銀	一リットルにつき〇・〇〇〇五ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.0005 mg/L 以下)
アルキル水銀	検出されないこと。	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (N. D.)
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (N. D.)
セレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.01 mg/L 以下)
トリクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇三ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.03mg/L 以下)
テトラクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.01 mg/L 以下)
ジクロロメタン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.02 mg/L 以下)
四塩化炭素	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.002 mg/L 以下)

一・二—ジクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇四ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.004 mg/L 以下)
一・一—ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.1 mg/L 以下)
一・二—ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇四ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.04 mg/L 以下)
一・一・一—トリクロロエタン	一リットルにつき一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (1 mg/L 以下)
一・一・二—トリクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.006 mg/L 以下)
一・三—ジクロロプロペン	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.05 mg/L 以下)
ベンゼン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.01 mg/L 以下)
シマジン	一リットルにつき〇・〇〇三ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.003 mg/L 以下)
チウラム	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.006 mg/L 以下)
チオベンカルブ	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.02 mg/L 以下)
塩化ビニルモノマー	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.002 mg/L 以下)
一・四—ジオキサン	一リットルにつき〇・〇〇五ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.05 mg/L 以下)
ダイオキシン類	一リットルにつき一〇ピコグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 8 月 10 日	0.056pg - TEQ/L

「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。

最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、六月に一回以上測定すること

埋め立てる廃棄物の種類及び保有水等集排水設備により集められた保有水等の水質に照らして地下水等の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。

埋立処分開始後（地下水No. 2）

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
カドミウム	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.003 mg/L 以下)
全シアン	検出されないこと。	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (検出されないこと)
鉛	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.01 mg/L 以下)
六価クロム	一リットルにつき〇・〇五ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.05 mg/L 以下)
砒素	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.01 mg/L 以下)
総水銀	一リットルにつき〇・〇〇〇五ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.0005 mg/L 以下)
アルキル水銀	検出されないこと。	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (N. D.)
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (N. D.)
セレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.01 mg/L 以下)
トリクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇三ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.03mg/L 以下)
テトラクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.01 mg/L 以下)
ジクロロメタン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.02 mg/L 以下)
四塩化炭素	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.002 mg/L 以下)
一・二—ジクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇四ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.004 mg/L 以下)
一・一—ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.1 mg/L 以下)
一・二—ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇四ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.04 mg/L 以下)

一・一・一―トリクロロエタン	一リットルにつき一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (1 mg/L 以下)
一・一・二―トリクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.006 mg/L 以下)
一・三―ジクロロプロペン	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.05 mg/L 以下)
ベンゼン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.01 mg/L 以下)
シマジン	一リットルにつき〇・〇〇三ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.003 mg/L 以下)
チウラム	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.006 mg/L 以下)
チオベンカルブ	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.02 mg/L 以下)
塩化ビニルモノマー	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.002 mg/L 以下)
一・四―ジオキサン	一リットルにつき〇・〇〇五ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.05 mg/L 以下)
ダイオキシン類	一リットルにつき一〇ピコグラム以下	地下集水ポンプ	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 8 月 10 日	0.058pg - TEQ/L

「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。

最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、六月に一回以上測定すること

埋め立てる廃棄物の種類及び保有水等集排水設備により集められた保有水等の水質に照らして地下水等の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。

## 埋立処分開始後（放流水）

放流水の水質検査	基準	水質検査に係る放流水を採取した場所	水質検査に係る放流水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
カドミウム及びその化合物	一リットルにつきカドミウム〇・一ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成27年7月10日	平成27年7月27日	検出せず (0.1 mg/L 以下)
シアン化合物	一リットルにつきシアン一ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成27年7月10日	平成27年7月27日	検出せず (1 mg/L 以下)
鉛及びその化合物	一リットルにつき鉛〇・一ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成27年7月10日	平成27年7月27日	検出せず (0.1 mg/L 以下)
六価クロム化合物	一リットルにつき六価クロム〇・五ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成27年7月10日	平成27年7月27日	検出せず (0.5 mg/L 以下)
砒素及びその化合物	一リットルにつき砒素〇・一ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成27年7月10日	平成27年7月27日	検出せず (0.1 mg/L 以下)
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	一リットルにつき水銀〇・〇〇五ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成27年7月10日	平成27年7月27日	検出せず (0.005 mg/L 以下)
アルキル水銀化合物	検出されないこと。	浸出水処理施設	平成27年7月10日	平成27年7月27日	検出せず (検出されないこと)
有機燐化合物（パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びエチルパラニトロフェニルチオノベンゼンホスホネイト（別名E P N）に限る。）	一リットルにつき一ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成27年7月10日	平成27年7月27日	検出せず (1 mg/L 以下)
ポリ塩化ビフェニル	一リットルにつき〇・〇〇三ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成27年7月10日	平成27年7月27日	検出せず (0.003 mg/L 以下)
セレン及びその化合物	一リットルにつきセレン〇・一ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成27年7月10日	平成27年7月27日	検出せず (1mg/L 以下)
トリクロロエチレン	一リットルにつき〇・三ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成27年7月10日	平成27年7月27日	検出せず (0.3 mg/L 以下)
テトラクロロエチレン	一リットルにつき〇・一ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成27年7月10日	平成27年7月27日	検出せず (0.1 mg/L 以下)
ジクロロメタン	一リットルにつき〇・二ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成27年7月10日	平成27年7月27日	検出せず (0.2 mg/L 以下)



四塩化炭素	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.02 mg/L 以下)
一・二―ジクロロエタン	一リットルにつき〇・〇四ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.04 mg/L 以下)
一・一―ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・二ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (1 mg/L 以下)
シス―一・二―ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・四ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.04 mg/L 以下)
一・一・一―トリクロロエタン	一リットルにつき三ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (3 mg/L 以下)
一・一・二―トリクロロエタン	一リットルにつき〇・〇六ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.06 mg/L 以下)
一・三―ジクロロプロペン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.05 mg/L 以下)
ベンゼン	一リットルにつき〇・一ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.1 mg/L 以下)
シマジン	一リットルにつき〇・〇三ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.03 mg/L 以下)
チウラム	一リットルにつき〇・〇六ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.06 mg/L 以下)
チオベンカルブ	一リットルにつき〇・二ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (0.2 mg/L 以下)
ふつ素及びその化合物	一リットルにつきふつ素一五ミリグラム以下 (海域以外の公共用水域に排出されるものは、当分の間、適用するものとする。)	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (8 mg/L 以下)
水素イオン濃度 (pH)	海域以外の公共用水域に排出されるもの五・八以上八・六以下 海域に排出されるもの五・〇以上九・〇以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	6.9 (20℃) (5.8~8.6)

生物化学的酸素要求量 (BOD)	一リットルにつき六〇ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (160 mg/L 以下)
化学的酸素要求量 (COD)	一リットルにつき九〇ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	4 mg/L (160 mg/L 以下)
浮遊物質 (SS)	一リットルにつき六〇ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	5 mg/L (200 mg/L 以下)
窒素含有量	一リットルにつき一二〇 (日間平均六〇) ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	2.8 mg/L (120 mg/L 以下)
大腸菌群数	一立方センチメートルにつき日間平均三、〇〇〇個以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	2 個/c m <sup>3</sup> (3000 個/c m <sup>3</sup> 以下)
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	一リットルにつき五ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (5 mg/L 以下)
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	一リットルにつき三〇ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (30 mg/L 以下)
フェノール類含有量	一リットルにつき五ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (5 mg/L 以下)
銅含有量	一リットルにつき三ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (3 mg/L 以下)
亜鉛含有量	一リットルにつき二ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	0.006 mg/L (2 mg/L 以下)
溶解性鉄含有量	一リットルにつき一〇ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (10 mg/L 以下)
溶解性マンガン含有量	一リットルにつき一〇ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (10 mg/L 以下)
クロム含有量	一リットルにつき二ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	検出せず (2 mg/L 以下)
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	一リットルにつき、当分の間、アンモニア性窒素に〇・四を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量二〇〇ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	2.3 mg/L (100 mg/L 以下)

ほう素及びその化合物	海域以外の公共用水域に排出されるもの一リットルにつき、当分の間、ほう素五〇ミリグラム以下 海域に排出されるもの一リットルにつき、当分の間、ほう素二三〇ミリグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 7 月 27 日	1.0 mg/L (-)
ダイオキシン類	一リットルにつき一〇ピコグラム以下	浸出水処理施設	平成 27 年 7 月 10 日	平成 27 年 8 月 10 日	0.0014pg - TEQ/L

備 考

- 1 「検出されないこと」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。
- 2 「日間平均」による排水基準値は、一日の排出水の平均的な汚染状態について定めたものである。
- 3 海域及び湖沼に排出される放流水については生物化学的酸素要求量を除き、それ以外の公共用水域に排出される放流水については化学的酸素要求量を除く。
- 4 窒素含有量についての排水基準は、窒素が湖沼植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある湖沼として環境大臣が定める湖沼、海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある海域（湖沼であって水の塩素イオン含有量が一リットルにつき九、〇〇〇ミリグラムを超えるものを含む。以下同じ。）として環境大臣が定める海域及びこれらに流入する公共用水域に排出される排水に限って適用する。
- 5 燐含有量についての排水基準は、燐が湖沼植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある湖沼として環境大臣が定める湖沼、海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある海域として環境大臣が定める海域及びこれらに流入する公共用水域に排出される排水に限って適用する。

埋立処分開始後（地下水 No. 1）

	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果	
				電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン (mg/L)
4月	ポンプ No. 1	4月10日	4月14日	9.9	—
5月	ポンプ No. 1	5月8日	5月8日	11.0	—
6月	ポンプ No. 1	6月12日	6月16日	9.0	—
7月	ポンプ No. 1	7月10日	7月27日	9.1	—
8月	ポンプ No. 1	8月21日	8月27日	11.0	—
9月	ポンプ No. 1	9月11日	9月15日	7.3	—
10月	ポンプ No. 1	10月9日	10月14日	7.5	—
11月	ポンプ No. 1	11月13日	11月17日	11.0	—
12月	ポンプ No. 1	12月11日	12月15日	10.0	—
1月	ポンプ No. 1	1月15日	1月20日	9.3	—
2月	ポンプ No. 1	2月12日	2月18日	9.7	—
3月	ポンプ No. 1	3月11日	3月15日	9.6	—

最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、この限りでない。

窒素含有量は、窒素が湖沼植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある湖沼として環境大臣が定める湖沼、海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある海域（湖沼であつて水の塩素イオン含有量が一リットルにつき九、〇〇〇ミリグラムを超えるものを含む。以下同じ。）として環境大臣が定める海域及びこれらに流入する公共用水域に排出される場合に水質検査を行う。

## 埋立処分開始後（地下水 No. 2）

	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果	
				電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン (mg/L)
4月	ポンプ No. 2	4月10日	4月14日	7.5	—
5月	ポンプ No. 2	5月8日	5月12日	7.9	—
6月	ポンプ No. 2	6月12日	6月16日	7.4	—
7月	ポンプ No. 2	7月10日	7月27日	7.0	—
8月	ポンプ No. 2	8月21日	8月27日	8.1	—
9月	ポンプ No. 2	9月11日	9月15日	12.0	—
10月	ポンプ No. 2	10月9日	10月14日	7.5	—
11月	ポンプ No. 2	11月14日	11月17日	9.0	—
12月	ポンプ No. 2	12月11日	12月15日	11.0	—
1月	ポンプ No. 2	1月15日	1月20日	8.2	—
2月	ポンプ No. 2	2月12日	2月18日	8.4	—
3月	ポンプ No. 2	3月11日	3月15日	7.4	—

最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、この限りでない。

窒素含有量は、窒素が湖沼植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある湖沼として環境大臣が定める湖沼、海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある海域（湖沼であつて水の塩素イオン含有量が一リットルにつき九、〇〇〇ミリグラムを超えるものを含む。以下同じ。）として環境大臣が定める海域及びこれらに流入する公共用水域に排出される場合に水質検査を行う。

埋立処分開始後（放流水）

期日	水質検査に係る放流水を採取した場所	水質検査に係る放流水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果				
				水素イオン濃度（pH）	浮遊物質濃度（mg/L）	化学的酸素要求量（mg/L）	生物化学的酸素要求量（mg/L）	窒素含有量（mg/L）
4月	浸出水処理施設	4月10日	4月21日	7.1	7	5	検出せず	0.5
5月	浸出水処理施設	5月8日	5月15日	7.0	6	5	検出せず	0.8
6月	浸出水処理施設	6月12日	6月22日	6.9	6	5	検出せず	2.3
7月	浸出水処理施設	7月10日	7月27日	6.9	5	4	検出せず	2.8
8月	浸出水処理施設	8月21日	8月28日	7.1	5	4	1	3.6
9月	浸出水処理施設	9月11日	9月18日	7.1	5	4	検出せず	5.2
10月	浸出水処理施設	10月9日	10月16日	7.0	4	5	検出せず	5.3
11月	浸出水処理施設	11月13日	11月25日	7.1	3	4	検出せず	4.0
12月	浸出水処理施設	12月11日	12月18日	7.3	6	4	1	1.6
1月	浸出水処理施設	1月15日	1月21日	7.4	5	5	検出せず	1.5
2月	浸出水処理施設	2月12日	2月19日	7.4	6	5	検出せず	0.8
3月	浸出水処理施設	3月11日	3月18日	7.3	7	5	検出せず	0.6

最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、この限りでない。  
 窒素含有量は、窒素が湖沼植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある湖沼として環境大臣が定める湖沼、海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある海域（湖沼であつて水の塩素イオン含有量が一リットルにつき九、〇〇〇ミリグラムを超えるものを含む。以下同じ。）として環境大臣が定める海域及びこれらに流入する公共用水域に排出される場合に水質検査を行う。

ホ 最終処分基準省令第一条第二項第十一号及び維持管理基準省令第一条第二号の規定による措置に関する次に掲げる事項

項 目	原因の調査	措置を講じた年月日	措置の内容
水質検査の結果、水質の悪化（その原因が当該最終処分場以外にあることが明らかであるものを除く。）が認められた場合			

ヘ 最終処分基準省令第一条第二項第十四号ロの規定による点検に関する次に掲げる事項

項 目	浸出液処理設備の機能の状態																														
	点検を行った年月日、結果																														
月／日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
4月	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○		○	
5月	○	○					○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○		
6月	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○		○	○		
7月	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○				○	○	○	○			○	○	○	○	
8月			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○
9月	○	○	○	○			○	○	○	○	○						○	○						○	○					○	○
10月	○	○			○	○	○	○	○				○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
11月		○		○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○				○	○	○	○				○
12月	○	○	○	○			○			○	○			○	○	○	○	○			○	○		○	○				○	○	
1月				○	○	○	○	○				○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
2月	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○				○	
3月	○	○	○	○			○	○		○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○				○	○	○

浸出液処理設備の機能に異状が認められた場合	
措置を講じた年月日	講じた措置の内容

ト 最終処分基準省令第一条第二項第十九号の規定による測定を行った年月日及びその結果

項 目	測定を行った年月日	測定を行った結果
残余の埋立容量の測定	平成 28 年 3 月 31 日	3,436 m <sup>3</sup>